

「国難」に備え、学び実行する

「国難」となる巨大災害に備える

～日米危機管理の現状とこれから～



- 先進国の近代的な大都市に壊滅的被害をもたらした歴史上初めての水害
- 日本にとっても 「Last Wake Up Call」
- 日本の仕組みは、大きな災害のなかった高度成長期36年間の成功体験の中で構築

CeMI 環境・防災研究所 上席研究員
公益財団法人 河川財団
関 克己

(仮説) 伊勢湾台風から阪神・淡路大震災の間に
今日の日本の成功体験が構築された

発生年		災害等	死者・行方不明等	間隔
明治	12	1879 コレラ	105784	
	17	1884 台風	1992	5
	24	1891 濃尾地震	7273	7
	29	1896 明治三陸津波	27000	5
	32	1899 台風	1410	3
	41	1908 天然痘	4265	9
大正	3	1914 チフス	1176	6
	6	1917 関東大水害	1324	3
	12	1923 関東大震災	142807	6
昭和	2	1927 北丹後地震	2925	4
	8	1933 昭和三陸津波	3064	6
	9	1934 室戸台風	3246	1
	17	1942 台風16号	1158	8
	18	1943 鳥取地震	1083	1
	19	1944 東南海地震	1223	1
	20	1945 枕崎台風	3122	1
	21	1946 チフス	3351	1
	22	1947 キャスリーン台風	1529	1
	23	1948 福井地震	3769	1
	23	1948 アイオン台風	2794	1
	29	1954 洞爺丸台風	1761	6
	33	1958 狩野川台風	1269	2
	34	1959 伊勢湾台風	5098	1
高度成長期				36
平成	7	1995 阪神・淡路大震災	6434	
	23	2011 東日本大震災	約19000	16

(各種資料より整理中)

米国ハリケーン・サンディに関する 第2次現地調査を終えて

ハリケーン・サンディ調査団緊急メッセージ

(平成25年4月24日)

米国ハリケーン・サンディに関する現地調査団

< 想定外に対応せよ >

- 大規模な浸水を前提として対応力を強化
- 3大都市圏の大規模水害のリスク評価を速やかに行い、国民に周知
- 地方公共団体、民間企業と連携し、災害対応の行動計画を策定・共有
- 災害対応後の検証・改善する仕組みの構築(AAR)

(1) 「何が起こるのか」の 社会的共有化が防災・減災の基本①

- 「何が起こるのか」の具体的なリスク評価
と防災・減災の可能性と限界
- リスク評価に必要な要件
 - 科学的な知見を動員
 - 多様な主体にとっての最悪を含む
 - 社会的に信頼される
- 地域、個人、企業等と防災関係機関相互の共有化
↓
- 役割と責任分担が明らかに
- 優先順位が明らかに
↓
- 「現実感をもった実効ある防災・減災へ」

(1) 「何が起こるのか」の 社会的共有化が防災・減災の基本②

< 振り返る >

- リスクを社会的に共有できなかった時代
- 総合治水、土砂災害防止法
⇒ 津波防災地域づくり法
- 「・・・エリア単位での防災対策・・・制度的な枠組みは存在していない。」 都市再生の推進に係る有識者ボード 防災WG
- 阪神・淡路大震災の検証と東日本大震災
- 東日本大震災、ハリケーン・サンディに学ぶ

(2) 「何が必須なのか」の 社会的共有化と役割と責任分担①

- とりわけ、災害応急対応に必要な事項の共有化
- そこでは、どんな機能や事前の準備が必要か



- 意思決定機能の役割
- 市町村、都道府県、国等を含めた
災害応急対応の共通化や標準化
- 専門家（組織）の役割



「合理的・効果的で迅速な災害応急対応の強化へ」

(2) 「何が必須なのか」の 社会的共有化と役割と責任分担②

< 意思決定者である市町村長等のつぶやきに応える >

- 学問がほしい
- 「危ない」「危ない」なら私でも言える
- 危険の程度に応じて恐れ、
安全の程度に応じて安心する
- 困っているところに判断に必要な情報と
何ができて何ができないかを持ってきてくれた

(2) 「何が必須なのか」の 社会的共有化と役割と責任分担 ③

< 昨日 学んだこと >

- 新たな課題、難しい課題には、
より高いレベルでの迅速な意思決定で
- 絶対的な答えがわかるまで
資源配分をしないのではない
このため、事前の準備が重要
- 意思決定において守らなければならない原則は

(3) タイムラインとは ～ さらに ～

- リスク評価と
リスクコミュニケーションから始まる防災・減災
- 共通認識と連携による
災害応急対応の共通化・標準化
- 意思決定機能と専門家(組織)機能の構築

御清聴

ありがとうございました